

東日本大震災 対策本部情報	9号	2011/03/15 19:45現在
------------------	----	-----------------------

各地本委員長殿

田城参議院議員、「民主党東北地方太平洋沖大地震対策本部」に直接要請に！

「とにかくガソリンを現地に！」

田城参議院議員は、本日、JR総連武井委員長、JR貨物労組伊藤委員長と共に「民主党東北地方太平洋沖大地震対策本部」を訪問し、現地の悲痛な声を届けました。

「被災地本から悲痛な声が届いている。被災地はいま物資が極端に不足している。しかしそれを運ぶためには、まずガソリンが必要だ。しかしそれがない。また安否確認を行うにも、足となる車を動かすためのガソリンが必要だ。」さらに「現在の福島第一原発の状況下で、避難しようにも足となる車を動かすガソリンがない。避難したくてもできない」という現地の声を直接、届けました。

また効率的に、かつ確実に大量のガソリンや必要な物資を運ぶためには、貨物コンテナ・オイルタンクの活用が有効であることを具体的に問題提起しました。

被災地で大変な生活を余儀なくされている組合員・家族の方々、そしてすべての被災者の方々の深刻で悲痛な声を、政治に反映させるべく、田城議員は積極的に発言し、行動しています。

